広報のあさひ
No.305
'82
4/15

なかよく遊ぼうね

4月8日，町内三保育園の入園式がいっせいに行われました。さゆり保育園では，2才から5才まで合わせて150名が入園。父兄に付添われて登園してきた園児たちは，新しいおともだちとの対面でちょっぴり緊張ぎみ。

「交通事故に気をつけて，元気になかよく……」という園長先生や来賓のことばに熱心に耳をかたむけていました。

●今月の内容●

住みよい魅力ある町づくりを
昭和57年度予算内容……2
●3月定例町議会より……6
●カメラルポ
広い校舎でのびのびと……10
●みんなの教育
ボランティアの輪を広げよう……12
●町民のひろば・情報室……14

◆人口と世帯数　〈3/31現在〉　人口/男5,598人・女5,672人・計11,270人　世帯数/2,678世帯

魅力ある町づくりを

一般会計34億4,500万円

昭和五十七年度の町政の方針を決める三月定例町議会は、三月十日から七日間の日程で開かれ、新年度予算案など二十七の案件を審議、原案通り可決して閉会しました。今月は、新しい予算の内容を中心に、ことしの町づくりはどうすすめられるのかをご紹介します。

送橋小校舎改築などを推進

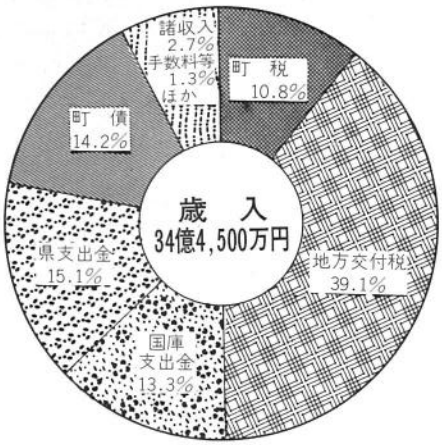
新年度の一般会計予算は総額三四億四、五〇〇万円となり、前年度当初予算に比べ一二・四㌫多いこれまで最高の額となりました。

ことしの予算は、国の経済方針に準拠しながら❶義務的経費の抑制と経費支出の効率化❷公共事業の積極的な受け入れと継続事業の早期完成❸補助事業による財源の効率的活用❹町単独事業の実施などに力点をおいて編成しています。

特にことしは新農業構造改善事業の実施など、農林業の振興に二〇・七㌫の予算を見込んでいるほか、送橋小校舎改築事業や公営住宅建設事業、白倉に緑地等管理センターの建設、道路網の整備などの重点事業を推進。

きめ細かな福祉施策も含め、住みよい町づくりに全力を上げる方針です。

しかし町財政は、固定資産の評価替えと税率の引き下げを含め、町税や地方交付税などの一般財源に大巾な伸びが期待できない一方行政需要の増大に伴い人件費等の義務的経費が年々増加しており、硬直化が一段と進むきびしい財政状況となっています。



＊町税の内訳

●固定資産税	1億8,672万円	50.1%
●町民税	1億2,088万円	32.4%
●たばこ消費税	3,727万円	10%
●その他	2,785万円	7.5%

歳入のおもな内容

歳入の中でもっとも大きな割合を占めているのが地

住みよい

積極的な大型予算

町づくり
4本の柱

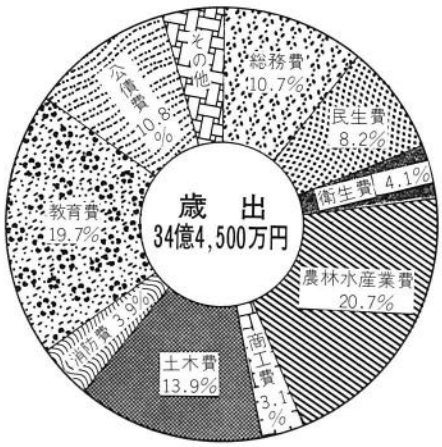
方交付税で一三億四、六九〇万円を見込んでいます。これは全体の三九・一㌫で前年より一億三九〇万円の増となっています。

ついで**県支出金**が五億一九五九万六千円（一五・一㌫）で、前年より二、四七七万二千円の増となっています。この八八㌫あまりは農林業関係の補助金です。

つぎに町の借金である**町債**が四億八、九〇〇万円（一四・二㌫）で、前年より七、二一〇万円増えています。

つぎに**国庫支出金**は四億五、八二二万八千円（一三・三㌫）で、前年より一億二、七七四万九千円と大巾な増を見込んでいます。これは送橋小改築に伴う国の負担金や公営住宅建設事業への補助金などがおもなものです。

ついで自己財源の**町税**は三億七、二七二万二千円で前年より四、六八四万円の増、全体の一〇・八㌫を見込んでいます。



＊性質別内訳

- 普通建設事業費…41.1%
- 人件費……21.9%
- 物件費…… 8.2%
- 公債費……10.8%

＊歳出の内容

●民生費
2億8,319万円

●総務費
3億6,666万円

●衛生費
1億4,044万円

●農林水産業費
7億1,156万円

●消防費
1億3,586万円

●土木費
4億8,028万円

●教育費
6億8,024万円

●商工費1億722万円
●公債費3億7,182万円

歳出のおもな内容

つぎに歳出の方ですが、目的別の内訳はつぎの通りです。

●議会費　これは議員の報酬などがおもなもので、総額六、一四二万六千円、全体の一・八㌫となっています。

●総務費　総額三億六、六六五万八千円で全体の一〇・七㌫。この内容は区長など非常勤特別職の報酬や職員の給与のほか、広報の発行費、広域事務組合の負担金、電算や戸籍の費用、交通安全施設整備費などです。

●民生費　総額二億八、三一八万六千円で全体の八・二㌫。内容としては民生委員・老人家庭奉仕員等の報酬や老人医療費、町立保育園の費用、国民年金の費用などがあります。

●衛生費　これは各種検診委託料や病院事業会計への補助、クリーンセンター負担金などがおもなもので、総額一億四、〇四三万五千円、全体の四・一㌫となっています。

●農林水産業費　総額七億一、一五六万二千円で全体の二〇・七㌫。これは農業委員会の費用や農林関係の事業費で、ことしは新農業構造改善事業の実施を始めモデル事業の推進、農地開発事業、緑地等管理センターの建設など大型の補助事業が進められます。

●商工費　総額一億七二二万三千円で、全体の三・一㌫。商工会や清水工業団地への補助、白倉スキー場整備費などのほか、東京連絡事務所の費用などがおもなものです。

●土木費　総額四億八、〇二八万三千円で、全体の一三・九㌫。おもな事業として、広域過疎計画の道路整備や公営住宅建設、近隣公園整備事業などが進められます。

●消防費　これは広域消防の負担金や防火水槽新設工事費、ポンプ等の購入費がおもなもので、総額一億三、五八六万一千円、全体の三・九㌫となっています

町民と一丸となって手づくりの町を

＊町長の施政方針

一昨年十二月以来、二期目の町政を担当するに当り五つの政治目標を掲げ努力して参りましたが、五十七年度の町政を執行するに当り、健全財政の確立に留意しつつ、積極的にかつ慎重に効率的な行政の遂行を目差し最大の努力をして参る所存であります。

産業の振興による町民所得の向上

過日の朝日新聞による住み心地指標によれば、わが町は総合的に県内十七位であるのに比べ、世帯所得は最下位という状況にあり、町民所得の向上のために全力を注がなければなりません。

まず第一次産業の多い当町にとって基幹産業である農業の振興こそ、町全体の活力と豊かさを保障する絶対条件でありますので、この振興策に特に意を注いで参ります。具体的には次の施策を進めます。

❶生産基盤の整備と開発可能地の耕地化
❷農林道、山腹水路の整備と治山治水事業の推進
❸農村生活環境の整備
❹農地の流動化促進
❺後継者育成と営農指導の強化

特に新規事業として新農業構造改善事業に取り組み農地造成と農村環境の整備に力を注ぎます。

さらに町民所得の向上に大きな役割をもつ商工対策については次の施策を進めます。

❶既存企業の育成
❷男子型企業の導入
❸不況対策と地元企業の活用
❹ショッピングセンターの建設促進と経営診断

生活環境整備による住みよい町づくり

最近の都市化現象による生活の高度化に伴い、生活環境の汚染化及び町民の要望等が急速に高まっています。特に道路網の整備を始め、公園や医療施設、上下

教育費　総額六億八、〇二三万六千円で、全体の一九・七㌫を占めています。今年度の重要事業である送橋小学校改築事業のほか、スクールバス運行委託料などの中学校費や社会教育費も含まれています。

公債費　これは各種事業を行うために、これまで国やその他の機関から借入れた起債の元利償還金で、総額三億七、一八二万三千円全体の一〇・八㌫となっています。

☆また性質別内訳では全体に占める**投資的経費**が一五億二、一〇一万円（四四・一㌫）で、**消費的経費**一四億五、五八六万円（四二・三㌫）を上回っています。

町立病院の産婦人科医長に
片野裕華先生が就任

このほど町立病院の産婦人科医長に片野裕華先生が就任し、四月一日から診療を始めています。

片野先生は昭和十七年マレーシアに生まれ。高校を卒業後日本に渡り亜細亜大学、新潟大医学部などを経て山大医学部産婦人科教室研究生となりました。その後県立新庄病院、南陽市立病院等を経て現在に至っています。

先生は新潟県出身の夫人と子ども二人の四人家族ですが、夫人は山大医学部助教授をつとめており、来年十月まで子どもを連れアメリカに留学中です。そのため先生は単身で病院の官舎に居住されています。

先生は「この町の人々に力の限り尽くしたい」と張り切っています。

福祉の充実による平和な町づくり

人間の幸せの条件として水道の整備、さらには公営住宅の建設、住宅団地への誘導等を進め、生活の利便性と快適性の向上につとめます。

❶山形～朝日線の早期完成をはじめ国・県道の整備促進

❷清水工業団地に通ずる西原～西町線など町道の改良舗装

❸排雪モデル地区を今年も継続すると共に、消雪道路のための地下水調査、除雪機械を購入するなどの克雪対策

❹双葉住宅団地の早期分譲と公営住宅（十二世帯分）の新築などの住宅対策

❺緑が丘公園の整備

❻上水道の投資計画作成

また町立病院の改築については、今年一年間で改築年度、規模など具体的方針を検討します。

教育の振興による心豊かな人づくり

経済大国になった我国において、物質文明のひずみとも言うべきいろいろの障害が顕在化しています。今日ほどこれらに対応する基本的姿勢を持たなければならぬときはありません。特に町づくりの考え方として、智恵のある者は智恵を力のあるものは力を、金のある者は金を出し合い、自分の住んでいる町を自らの手で造りあげようとする能動的な精神を教育の場で培う必要があります。

心と物の豊かさの調和が必要であり、施設や諸制度の充実と共に愛情や思いやりに支えられた生活が何より大切であります。そのために社会教育、家庭教育、学校教育はもちろん、行政も一体となって人づくり、地域づくりに努力し、総合性のとれた福祉の充実を図ります。

❶高齢者センター及び社会福祉協議会の充実

❷結婚相談など諸相談事業の充実

❸一日人間ドックの継続と検診事業の充実

❹健康づくりモデル地区の指定

❺福祉バスの活用と福祉タクシーの新設

❻医療機関との連携

❼老人保健の充実

❶部落づくりを基本として活動の輪を広げる

❷町行政と教育行政のより緊密な連携

❸各年齢層の教育機会を増大し人材の養成を図る

❹送橋小学校の改築

❺スポーツ施設の整備

行政の効率化と健全財政の確立

職員の錬成による効率的な行政の運営と健全財政の確立に努力します。特に職責を明確にすると共に、研修制度、提言制度を確立します。また財政の展望に留意して行政を運営して参ります。

●三月定例町議会

活発に一般質問

三月定例町議会の一般質問には次の七名の方が立ち、「きびしい財政状況から町としての行政改革をどうすすめるか」「病院改築は財政運営上から五十八年度実施が可能なのか」「きびしい情勢の中で、産業の振興による町民所得の向上のためにどんな施策を講じるのか」など、当面する町政の課題に対する質問が出されました。

質問のおもな内容

■菅井健吉議員／町の財政状況について。特別職報酬条例の運用について。建築業界の対応策について。

■白田太郎議員／社会福祉協議会の業務について。北部診療所の今後の運営について。

■堀重雄議員／奨学資金を朝日分校生徒に優先貸与してはどうか。病院改築について。

■安藤貢議員／ゆとりある教育の実態について。身障者に対する教育と福祉について。

■鈴木正二議員／当町は世帯所得が県下最下位となっているがどう受けとめるか。町をとりまくきびしい情勢の中で産業の振興をどうはかるか。

■近衛正雄議員／農業振興上から行革をどう受けとめるか。落果防止剤の見通しと指導について。りんご産業上の問題について。

■長岡健一議員／公園緑地整備で墓地公園を設置する考えはないか。白倉スキー場の今後の整備計画と管理運営について。

可決されたおもな案件

●財産の処分について（土地）
●財産の取得について（白倉部分林分収権）
●昭和五十六年度朝日町普通共用林野状況の報告について
●昭和五十六年度朝日町一般会計補正予算
●〃国保特別会計〃
●〃水道事業会計〃
●〃高齢者生産活動センター会計〃
●〃白倉スキー場会計〃
●町特別職の給与に関する条例の一部改正について
●町議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
●町農村公園設置及び管理に関する条例の一部改正について
●農林補助事業に係る研修集会施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について
●町国民健康保険条例の一部改正について
●町立公民館等の設置及び管理に関する条例の一部改正について
●国土調査に伴う字の区域及び名称の変更について
●昭和五十七年度朝日町一般会計予算
●〃国保特別会計〃
●〃病院事業会計〃
●〃水道事業会計〃
●〃高齢者センター会計〃
●〃白倉スキー場会計〃
●町立小中学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について
●町一般職員の給与に関する条例の一部改正について
●国民年金制度改善に関する意見書の提出について
●たばこ、塩、専売制度の存続について意見書の提出について
●寒河江駅、左沢駅、長井駅の貨物取扱い廃止反対の意見書提出について
●「運輸政策答申」反対ならびに「地方陸上公共交通維持整備に関する件」の実現、意見書の提出について

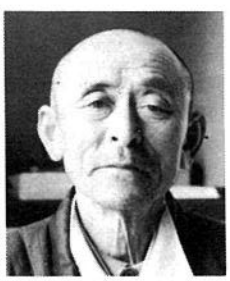
町議会を傍聴して

三月定例町議会を傍聴した方は七人いましたが、その中から次のお二人に傍聴しての感想を伺いました。

まず小原の相座惣治さん（72歳）は「町議会がこれほど真剣に行われているとは思いませんでした。欲を言えば、後継者の結婚対策を取り上げてほしかった」

次に助ノ巻の佐竹勝雄さん（60歳）は「区役員で傍聴したが、なかなか活発で感心しました。今後の希望として、幅員の狭い道路の整備を」と語っています。

佐竹　勝雄さん


相座　惣治さん

＊請　願

▽たばこ、塩、専売制度存続に関する請願書＝採択
▽寒河江駅、左沢駅、長井駅の貨物取扱い廃止反対の意見書の提出請願について＝採択
▽「運輸政策審議会答申」反対ならびに「地方陸上公共交通維持整備に関する件」の実現、意見書の提出請願について＝採択
▽「高額医療費受領委任の実施」のための決議を求める請願＝継続審査
▽「看護婦はじめ医療従事者の増員により付添にたよらぬ医療看護を実現するための決議」を求める請願＝不採択
▽スパイ防止法制定促進に関する意見書を求める請願＝継続審査
▽情報公開法制定に関する意見書を求める請願＝継続審査

ナガオカ杯バド大会で優勝

●町バドミントンクラブ男女共

第三回ナガオカ杯争奪バドミントン大会が、四月四日米沢から尾花沢まで四十八チーム（二三〇名）が参加して、旧天童高校体育館で行われました。朝日町バドミントンクラブからは三チームが参加。男子二部と女子二部でみごと優勝を勝ちとりました。

■男子一部／第四位（近衛秀敏、鈴木政利、鈴木俊一、白田武）
■男子二部／優勝（熊谷喜美夫、白田運吉、長岡鋭一、安藤茂雄）
■女子二部／優勝（阿部美喜子、大谷千鶴子、桜井千代美、清野洋子、外塚俊子）

YTSテレビ中継塔建設へ

長年の懸案であったYTSテレビの中継塔の建設がこのほど決まり、五月着工七月に完成する運びとなりました。この中継塔が完成することにより、鮮明な画像でYTSテレビを楽しむことができることになります。

今年度のおもな事業

農地開発や住宅対策に重点

●投資的事業　15億2,100万円

＜単位・万円＞

▷児童遊園施設工事等	152
▷老朽溜池整備事業	339
▷農山村地域振興特別事業	480
▷町単独土地改良事業	200
▷農村総合整備モデル事業（農道整備事業等）	16,692
▷団体営農地開発事業（長根・能中・三中農地造成）	10,908
▷小規模老朽溜池整備事業（龍神池）	1,616
▷新農業構造改善事業（西長根地区農地造成等）	16,129
▷山村振興農林漁業対策事業（緑地管理中央センター建設等）	3,967
▷第２次林業構造改善事業（林道開設事業等）	4,419
▷白倉スキー場整備事業	200
▷広域過疎計画道路整備事業	12,087
▷除雪機購入費	1,880
▷臨時地方道整備事業	3,150
▷がけ地近接危険住宅移転事業	1,225
▷公営住宅建設事業	12,731
▷近隣公園整備事業	3,971
▷防火水槽新設工事	2,100
▷学校整備事業	1,244
▷送橋小学校改築事業	38,995
▷土木施設災害復旧工事	8,214

生きがいセンターとして活用を

＊高齢者生産活動センターから

高齢者センターは老人の持っている優れた技術や特性、趣味などを生かしながら、生産活動に参加し仲間と楽しく語らいながら、真の生きがいを創り出そうとするために建てられたものです。そのために高齢者の能力再開発訓練、研修を行うほか、趣味と技術を生かしたグループ活動（**薬草、花木、民芸、養魚、木工、山菜加工**）があります。これは毎月、十日に一回集まって活動しているもので、自分の持っている能力を活用して、健康で、経済的に、うるおいを与えようというものです。地域社会の結びつきを深め、高齢者の真の生きがいのある毎日を、楽しく送られる社会を創出するためにも、最適な施設ですから、一人でも多くの方の活用を切望します。

＊一般の利用

高齢者センターは町内外を問わず自由に利用できます。リウマチ性疾患、糖尿病、特に湿疹への効果が高いので人気があります。薬効の高い源泉を、太陽熱で温度を高めた温泉で、全国でも珍しい立派な温泉です。温泉利用の外に、各種グループの会合、会議、温泉保養、商談、食事等の利用もできます。

これまでの利用状況（五六年度）は、一日当り最高二五二名、最低三名、一日平均五六名、この外に生産活動グループ、一日平均九・五名、県内外の視察者二・八名の利用でにぎわっています。特に日曜、祭日の利用が混雑します。

＊利用案内

- 開館／午前十時
- 閉館／午后五時（六月より六時閉館）
- 毎週月曜日は休館

●利用料

各室とも、午前300円、午后400円一日で700円、団体割引（15名以上）午前250円、午后300円一日で550円、入浴だけの利用料100円、子供半額。

●福祉バスの利用

町福祉協議会（☎七―二一一一）へお申込み下さい。

※夜間利用の場合は、事務局に相談して下さい。

◆グループ活動の申込み、問い合せは、高齢者センター（☎七―七二四九）へ

みんなの保険 ▶3◀

老人医療は本当に無料？

■お年寄りの医療費の大部分は国保の負担です

おじいちゃん、おばあちゃん、病気になったら安心してお医者さんにかかって、早くなおしてください。お年寄り（七〇歳以上の方や六五歳以上のねたきり老人）はお金を窓口で支払わなくてもお医者さんにかかれます。でも誤解しないでください。その医療費の大部分は、みんなが**国保税**を出し合っている国保で支払っているのです。

■お年寄りの医療費は増え続けています

お年寄りの医療費は、とても大きな額にのぼっています。昭和五十五年度のお年寄りの医療費は一人当たり平均で年間二十三万円ですが、これはお年寄り以外の人の三・五倍にあたり、国保全体の費用の三五％がお年寄りの医療費ということになります。お年寄りの人口はわが国ではこれからますます増えていく見込みです。それに応じて増え続ける医療費をどうやって保険で賄っていくかが、将来にかけての大きな課題となっています。

町職員人事

（四月一日付）

●異　動

▽**総務課**　財政係長最上俊一郎（**昇格・財政係**）　同係鈴木康宏（社会教育係）　庶務係若月加代子（朝日分校）　同係渡辺政一（年金係）

▽**企画課**　企画広報係主任長岡もと子（福祉係）　同係　遠藤憲一（町立病院）　商工観光係鈴木克美（固定資産税係）

▽**建設課**　維持管理係菊地幸子（議会事務局）　工務係大谷武一（事業係）

▽**産業課**　農政係長原喜内（財政係長）　同係阿部忠男（国保衛生係）　事業係富樫清志（農地調整係）　環境整備係　長岡典己（工務係）

▽**税務課**　町民税係　長岡信之（事業係）　固定資産税係阿部則雄（地籍調査係）

▽**住民課**　住民課長菊地元秀（水道事業所長）　福祉係長渡辺隆生（農政係長）　同係長岡重利（企画広報係）　住民係主任鈴木直子（企画広報係）　年金係　高取照子（庶務係）

▽**保健課**　保健課長長岡寛治（**昇格・福祉係長**）　国保衛生係阿部政彦（商工観光係）

▽**農業委員会**　農地調整係阿部和夫（事業係）　地籍調査係安藤一夫（町民税係）

▽**水道事業所**　水道事業所長多田賢司（西部出張所長）　工務係長神尾良裕（業務係長）　業務係長鈴木昭男（工務係長）　工務係　長岡勉（**新採**）

▽**議会事務局**　庶務係主任田中和子（維持管理係）

▽**西部出張所**　所長渡辺良（**昇格・出納係長**）

▽**出納室**　出納係長澁谷一俊（社会教育係長）

▽**朝日病院**　庶務医事係松田勝美（**新採**）　看護婦鈴木正子（**新採**）

▽**教育委員会**　社会教育係長小川澄夫（**昇格・社会教育係**）　同係鈴木芳文（庶務係）　同係橋間友則（福祉係）　同係小関典子（朝日中司書）

▽**保育園**　ふたば保育園保母海野優恵子（さゆり）　さゆり保育園保母松田敬子（わかば）　わかば保育園保母高沢きく子（ふたば）

▽**中学校**　朝日中司書若月智恵美（社会教育係）

▽**高校**　朝日分校斎藤文子（**新採**）

●退職発令（3／31付）

白田文蔵（住民課長）
鈴木　実（保健課長）

①ワインの歴史

ブドウの果実をつぶすと，その果皮についている天然の酵母の働きによって発酵し，ワインができる，ということが人によって発見されたのは1万年も前のことです。その頃のワインは，アルコールの度数もせいぜい4～5度位であり，未熟なワインだったのです。しかし，人々にとって初めて知ったアルコールの酔いの魅力は，大きな驚きであったに違いありません。偶然の機会に発見されたこのブドウの酒は，そののち人々に欠くことのできない飲料となり，喜びにつけ悲しみにつけ，ワインが飲まれるようになりました。

さて，日本人とワインとの出会いは近年になってからのことで，3回あったといわれています。はじめは奈良朝時代で，シルクロードから中国をへて入って来ました。2回目は戦国時代，南蛮貿易やヨーロッパの宣教師によって持ち込まれました。そして3回目は明治になって日本の開国とともに，外国からビール，ウイスキー，ブランデーなどといっしょに入って来ましたが，他の洋酒が日本人の好みにも合って，徐々に日本人の生活の中に定着していったのに，ワインは酒として伸びませんでした。

しかし，昭和43年頃から，ワインに対する関心がにわかに高くなり，ワインブームの到来とともに日本人の生活の中に着実に定着して来ています。これからさらに他の酒には見られないワインの豊かなムードと庶民性に，人々が大きな魅力を感じ，ワインとの友情をさらに深いものにしていくことでしょう。

新入生の元気な声がひびき渡る

広い体育館でのびのび遊ぶ子どもたち

でのびのびと

旧西中で学習

＊新校舎できるまで
がんばるぞ!!

送橋小学校は、去る三月十八日の卒業式を最後に、開校以来一〇五年間学んだ校舎が解体され、新校舎建設へ向けて準備が着々と進められています。

校舎は現在の敷地を広く整地して建てられることになっており、十二月完成するまで子どもらは旧西中校舎で学習します。

四月四日肌寒さの残る中入学式が行われました。ピカピカの一年生六名を迎え気持ちが引きしまります。子どもたちは「これまでとは環境がちがっても、校舎完成までがんばります」と笑顔で答えていました。

スクールバスでの通学など何もかも新しい体験。広々としたグラウンドや校舎で元気に楽しく生活してほしいものです。

だ校舎は跡形もなくなった

初めてのスクールバス通学

旧西五百川中の門をくぐる児童たち

校長先生があいさつを前に新入生と握手

小学校生活への夢がふくらむ

送橋小学校

旧校舎

新校舎完成まで

旧送橋小最後の卒業生二人

雨風にたえた旧校舎

105年間学ん

みんなの教育

ボランティアの輪を広げよう

高校生の実践から

〝ボランティア〟―最近よく耳にする言葉ですが、公共の福祉のために自主的に無報酬で活動する人のことをさします。朝日町にも高校生ボランティアの会がありますが、彼らの声から青少年の社会参加活動について考えてみたいと思います。

朝日町の高校生ボランティアの会「とちっぽ」は、昭和五十四年に発足して以来、町内に住む高校生を中心に子ども映写会、道路の空きカン拾い、明鏡荘訪問などいろいろな奉仕活動にとりくんできています。

自分のできることから

ボランティアの会に入ったきっかけとしては「ボランティアの会に入った時は特別りっぱな動機などなく、ただ何となく人に勧められて入っただけで、ボランティアの言葉の意味もよくわからなかった。〝人のため〟なんてりっぱなことを考えながらできるとは思わないが、自分のできる限りやっていきたいと思う」

（鈴木京子）

「何気なしに入った会だが、今ふり返ってみるとあらためて〝よかったな〟と思う。いろんな人々との出会いや奉仕活動など、ふだん見のがしてしまうようなことでもみんなといっしょに協力してやると、あとで大きな満足感がわきあがってきます」

（長岡英子）

実践を通して―学んだこと

ちょっとしたきっかけで始めた活動でも彼らが得ているものは大きいようです。

「老人ホームを慰問したり映写会をしたりして、今まで知らなかった世界を見ることができ、自己満足かもしれないが視野を広げることができたようだ」

（長岡優子）

「ボランティア活動をして喜んでもらったり、楽しんでもらうと私たちもうれしくなります。そして活動して良かったという気持ちになるのです。活動の中で私たちが学びとることもあるしとても勉強になります」

（長岡まゆみ）

「子どもたちを集めての映写会と遊びをした時に〝あの映画見だことある〟とか〝この遊びおべっだぁ〟などと子どもたちから言われると本当に困ってしまう」

（成原広志）

「ぼくは、自分で思うこ

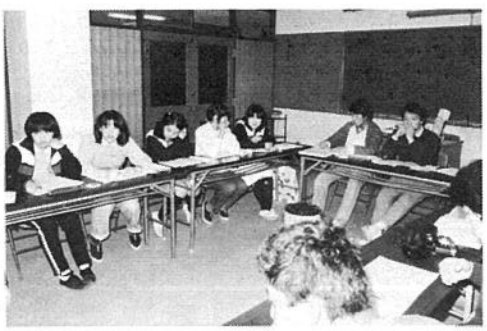
活動上の――問題

活動を続けていくうちに彼らなりに問題にぶつかる時もあります。

「部活動との両立ができず、ボランティアの会の方がおろそかになっていたことは事実だ。部の先生からも〝どちらかを選べ〟とずっと言われてきた。でも部も会もやめることができず、過ごしてきてしまった」

（長岡としみ）

学校生活との関係のほかに実際の活動においても、



活動のために研修は欠かせない

国道ぜいの
クリーン作戦を展開

子どもたちとの触れ合いが
できたときは心が満たされる

とだが、子どもと遊ぶのがあまり上手でないようだ。子どもと本当にいっしょになって遊ぶことはとてもむずかしいと思う」

（鈴木和美）

「明鏡荘を訪問してお年寄りと話をしたりするが、本当に喜んでくれる人とそうでない人がいるようで、なんか親切の押し売りをしているような気がする」

（成原正志）

いろいろな問題をかかえながらも、彼らは積極的に研修会や他のグループとの交歓会を企画し、自分たちの活動をもっと充実したものにしようと努力しています。

活動を支えるもの

そんな彼らの活動を本当に支えているものは何でしょうか。

「楽しいことばかりでなく、悲しいことやつらかったこともあります。何度もこの会をやめようと思ったこともあります。でも老人ホームの慰問や子どもたちとの映写会、道路清掃など何気なくやったことでも、みんなに喜んでもらい〝また来てね〟なんて言われた時は本当にうれしくて、今までやめてしまいたいと思っていた気持ちがどこかへ消えてしまい、これからも続けていきたいという考えに変わっていました」

（長岡三千代）

「ボランティア活動は一人でもできるけど、やっぱり大きなことはできない。せっかく〝とちっぽ〟というまとまりがあるのだからこのボランティアの会をがんばってやっていきたい」

（長岡祐美）

「宮宿公民館で人形劇をした時のことでした。あわただしく準備し、いよいよ本番、人形を動かしている時は、声と動作をずらさないように必死だったが、ふと子どもたちの反応はどうなんだろうと考えた。終わった時、子どもたちがどっとこちらの方に集まってきた。ボランティアの会に入って良かったと思った」

（鈴木梨香）

相手から感謝の気持ちが伝わること、いっしょに活動する仲間がいること、自分たちの努力が何らかの形で報われることなど、彼らが活動を通してとてもすばらしい体験をしていることがわかります。

地域社会に望むこと

彼らの活動はほんのちっぽけなものです。でも精いっぱいがんばっています。そんな彼らが家庭、学校を含めた地域社会に望むこととして

「もっと活動を理解してほしい。ただ〝ボランティアの会が何かやってくれているな〟というのではなくて、できればいっしょに活動してほしい」と言っています。

彼らはボランティア活動というものがもっともっと地域に広がっていくことを期待しています。

△編集／教育広報委員会▽

西船渡でダンスパーティ

待望の集会施設が完成した西船渡地区で、このすばらしい施設を有効に使おうと、婦人会が主催してダンス教室を開きました。指導はダンスクラブ鹿鳴館のメンバー。参加者は父ちゃんや母ちゃんだけ。週一回の練習を三カ月間続け、三月三十日納会をかねてパーティを開きました。参加者たちは、体にもたいへんいいと、さわやかな表情でステップをふんでいました。

健康づくりにも役立つと大好評

町民のひろば

●ご意見・話　題をお寄せ下さい。―広報係―

全国大会で初勝利

＊大谷剣道スポーツ少年団

去る三月二十八日、茨城県水戸市で開かれた全国選抜少年剣道錬成大会に出場した大谷剣道少年団は、過去三年連続出場しながら果たせなかった一試合目のかべを破り、準々決勝（四回戦）まで進むというすばらしい成績をつくりました。

一回戦は不戦勝。二回戦は地元の鹿島神武殿と対戦し、五対〇とみごと完勝しました。神奈川の久里浜剣友会との対決は三回戦。二対二から大将が引分け、代表決定戦へもつれ込みました。大谷チームはこの日一番調子の良い遠藤選手を送り出し、気迫のこもった試合展開でこの窮地を切り抜けました。このあと準々決勝へと駒をすすめ対戦相手は、地元の強豪日立電線日高道場。この試合、善戦及ばず一対三で敗れたものの、ブロック八強入りを果たしました。

四月三日行われた報告会の席上、全員に錬成証が渡されたほか、特に活躍が目立った遠藤秀彦選手に、優秀賞が授与されました。

8強入りを果たし、さわやかな笑顔の選手たち

おじゃましま～す No.1

知らせたいこと、言いたいことあったらデンワ下さい。うかがいます。☎8－2424　7－3436

今月は新学期なので、四月にはじめて小学校入学のお子さんをお持ちの大谷Sさん宅を訪ねてみました。

ご主人と奥さん、それに長男六歳、二男二歳の四人家族です。

「こんにちは、いろいろ入学の準備で大変だったなっす。ランドセルや机などなんぼ位かかったのやっす」

「はい、じいちゃん達から手分けしてお祝いをしてもらえたのでよほど助かったけど、全部で十万円以上はかかるようですネ……まだこれからも思わぬ出費があるので、春と共に財布が心細くなってきますのよ」

「家庭でのしつけは充分ですか又学校でのくらしに不安などありませんか？」

「しつけの面では保育園に三年間無事通園したし、まぁまぁと思うのですけど、学校生活では大きいお兄ちゃん達とうまくいくか、給食のこととか不安です。でも先ぱいのお母さん達の話などを聞くと、誰でもはじめ親も子も不安はあるものらしく、今は期待と不安が入りまじって複雑な気持ちです」。

とにかく新入生のご父兄の皆さんおめでとうございます。ピカピカの一年生を見守って一緒に喜び、つらいときも一緒に語り合い、今後の生活を楽しいものにして下さい。

手づくりのおやつや、時には自然とのふれ合いの場をつくって、このすばらしい朝日町の野や山に連れ出して、大自然の中を歩くことをおすすめします。デパートやスーパーに行くことだけが親子の楽しみ、ということからぬけ出して自然の大好きなこども達になるようみんなで考えましょうよ〃

（N子記）

自然を生かした学習を

登場この人

母校への新任で張り切る

佐竹　伸一さん（常盤・22才）

●生年月日／S35.3.12 ●家族／両親、祖母、妹と5人 ●趣味／登山（シーズンには鳥原小屋の管理代行を3年つとめた），写真，ギター，短歌 ●性格／根性努力型 ●血液／A型

「今の子どもらは与えられた事はなんでもやるが，自ら発見していくことが足りないのでは―」

朝日分校卒業後，山大教育学部へ。今春，小学校教員養成の課程を修了と同時に県教員試験に合格。母校の西五百川小に配属されることになった。

「朝日分校のことが色々とりざたされていますが，本人の目的さえはっきりしていればどこの学校も同じ。大規模校とは逆に，先生にマンツーマンで指導が受けられるなど良い面が多くあります」とさりげなく語る目に，母校への愛が伺える。

「この辺は自然に恵まれているのに，動植物などの知識は都会の子どもらの方が豊富だ。この自然を素材にした学習をぜひすすめてみたい。それにひまを見て，町の地形・地質などの研究をすることが課題」

「教員一年生として，何事にも体当りでぶつかりたい」と意気込むフレッシュマンである。

消防演習を前に操法特訓

●婦人消防クラブ高田班

4月22日朝日中グラウンドで行われる春季消防演習に，消防操法の部で参加する婦人消防クラブ高田班が連日練習に励んでいます。

これまで高田区では出稼ぎが多かったため，冬期間部落を守るのは母ちゃんたちの役目，と毎年春秋2回は消火の実訓練を受けたり予防査察に力を入れるなど，消防活動を積極的におこなっています。婦人消防高田班は部落内や隣部落の実火災での活曜が認められ，これまで知事表彰や町長表彰を受けています。

この日は消防団員の指導で，操法，分列行進など，きびきびとした動作で練習に励んでいました。

操法練習に励む婦人たち

なごやかなふんいきで本場のギョーザ作りを習う

本場のギョーザ、味はどう？

中国から里帰りの小松さんと送橋婦人会

中国から送橋に里帰りしていた小松靖子（中国名＝刘子香（リョウズーシャン）さんが、四月五日、帰国を前に送橋婦人会の方々のためにとギョーザ作り講習会を開きました。

小松さんは、娘の崔英杰（ツウェイエンヂエ）さん（中学三年）を連れて昨年十月下旬、送橋の渡辺喜八郎さん宅に里帰り。この五カ月間、婦人会の歓迎会に呼ばれたり、地区の人にスキーに連れて行ってもらったりするなど、温かい交流が行われました。

この日は、公民館に大勢の母ちゃんたちが集まり、言葉は通じなくとも身ぶり手ぶりで、本場のギョーザ作りのコツをもらさず覚えようと熱心に取り組んでいました。なお小松さんは四月二十日帰国の予定です。

「広報あさひ」三〇〇号（五十六年十一月号）を記念しておこなった作文コンクールで、みごと入選一席の栄誉に輝いた二つの作品を、今月と来月の二回にわたりご紹介します。

「子供の里」をたずねて

水本小学校六年　岡崎賢司
森　広美

（広報三〇〇号記念作文コンクール入選一席（小学生の部））

昭和六十六年、私達の朝日町の様子もずい分変わってきました。町の中心の宮宿や大谷などもたいへん住みよくなりましたが、なんといってもへき地が町の方しんによってすごく開けたのです。というのは、「老人の里」「青年の里」「子供の里」がそれぞれへき地と言われた所に作られたからです。

老人の里は大沼や大暮山を中心にでき、青年の里は立木方面に、そして子供の里は水本地区にできました。三つとも、すばらしい施設が備えられ、楽しみと勉強のセンターとして全町民に利用されています。

では、私達は水本地区にある子供の里を訪問してみましょう。

宮宿から新しく作られたサイクリング道路を通って水本に入ってみました。入口には送橋川をせき止めて作ったという水本湖がありました。両岸の桜、柳、竹が水面に写ってきれいでした。つりもできますし、ボートをうかべる事もできるそうです。

なんといっても三階建ての子供センターの大きな建物が目立ちます。大小二つの体育館の他に、ふ通教室が十、特別教室が五、また宿泊し設まであります。朝日町の小中学生は、週に二日はこのセンターで勉強するのだそうです。そのためのスクールバスが五台ならんでいました。

全部の教室には新しく開発された新型学習マシンが備え付けられているのが特長で、教室をのぞいてみると、ヘッドホンを付け、机の上のコンピューターみたいな物で真けんに勉強していました。今までの半分の時間で覚えられるようになったということです。

センターのそばには、古い建物が四、五けん建っていました。歴史村といって、江戸時代の寺小屋、鎌倉時代の武士のやしき、平安時代の寝でん造り、そして原始時代のたて穴住居までありました。この中にはその時代の資料がならべられており、またこの中で実際に生活を体験するのだそうです。いろりに木を燃やし、半分はだかで木の実を食べている人や、あんどんの明りですわって習字を書いている人もいました。

センターの前のグランドは二段になっていて、全部あわせると後楽園の二倍はあり、たいていの種目が一ぺんに利用できるそうです。もちろん、五十メートル温水水泳プールもあって、冬も利用できます。

センターのまわりは、ほとんど植物園で、その外がわは原生林です。植物園は、花だん園と野生園と果樹林にわかれています。花だんの植物はもちろん、きのこ、わらび、あけびなどのほか、りんご、もも、なし、かき、ぶどう、くりまであります。おどろいたことは、原生林の小道を歩いた時のことです。何十種類の小鳥のさえずりがうるさかったことと、たぬき、きつね、うさぎ、いたち、むささびなどの小動物が至る所から顔を出して私達をびっくりさせたことです。まるで自然の動物公園のようでした。昼もうす暗い所では、ふくろうが鳴いていました。

最後に、子供の里の村長さんに面会してお話を聞いて来ました。村長さんは中学三年生。助役さんは小学六年生でした。お話によると、これからの計画として、

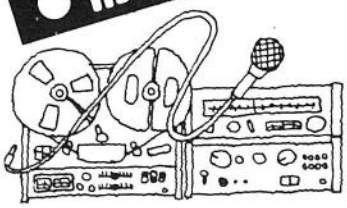
① 白鷹山からまっすぐ下ってこられる大スキー場を作りたい。

② 鶴岡市の三瀬小学校の協力をお願いして、内陸地方で最初の水族館を作りたい。

③ となりの山辺町と姉妹町となって、この子供の里を使って集合学習を開きたい。

以上のようでした。子供の幸せこそ第一という町長さんのお考えが見事実現しました。やっぱりその結果は、ほかの産業もどんどんさかんになり、住民はいきいきと生産にはげんでいます。子供の里の計画がぜひ実現するよう祈って私達はこの里に別れをつげました。

●情報室



＊「東京朝日会」ふるさと公演

●**とき**／5月2日（日）午後1時～3時30分
●**ところ**／朝日町民体育館
●**内容**／歌謡&民謡ショー
●**出演**／阿部徳二郎氏（宮宿出身），矢下勇厳氏（太郎出身），白田鴻秋氏（大谷出身）
●**入場料**／1,000円
●**主催**／ふるさと公演実行委員会（町内各種団体）

＊和合でワインまつり

●**とき**／5月8日（土）午前12時～午後3時
●**内容**／ワインパーティ，ワイン及び物産即売会
●**メニュー**／ワイン，牛肉，野菜
●**会費**／1人 2,000円
●**申込み**／参加希望の方は4月28日まで，会費を添えて企画課へ。

＊求人あんない

●㈱**朝日相扶製作所**
☎7—2002
①機械技能者／高校機械科卒。機械いじりの好きな方。未経験でも可。
（仕事の内容は機械の保守管理，改良の専門職）
②電気技能者／高校電気科卒または実務経験者。
（仕事の内容は電気関係保守管理の専門職）
○いずれも高給採用します。
くわしくは当社鈴木まで。

●**日山製作所**
☎水口工場 7—7259
大谷工場 8—2252
45歳位までの女性5～6名。
仕事内容はコイル製造。

●**白田建材（栗木沢）**
☎8—2550
ダンプ運転手2名。重機運転手1名。いずれも30歳位まで。

＊西部子ども卓球大会成績

（3/21 西小）

1位／大舟木・今平，**2位**／夏草・長沼，**3位**／太郎B

路傍の神々仏たち ㊾

送橋『神明神社』

高森山の頂に春一番の南風、谷の鶯夢からさめて万朶の桜咲きそう神明神社の春まつり。宮宿山辺の間は遠く行き交う人の旅の群、ご番所の跡お館山、歴史の跡もかすかにて松に唄うはただ嵐。

国道二八七号線を四ノ沢より別れて山形朝日線を東に進む。約二・五㌔にしてりんごの古里戸数四一戸の送橋につく。神明橋を渡れば、産土の杜神明神社である。恭しく本殿を拝す。本殿は方一間の高床式流れ造りの格調高い建造物である。ご神体は白雲にのる一木造りの白装束の天照大神である。高さ三七㌢の木像である。

内陣の棟札を拝するに、「宝暦四甲戌年九月廿七日　左沢領送橋村　渡辺丹右工門　別当　藤右工門　奉再建神明宮一宇村中安全　善願所　大工　用村　与市　同　大谷村　加七」

これを見るに宝暦四年（一七五四）は今を去る二二八年前であり、神明宮が再建された年である。

当時は松山藩左沢領であった。さらに次の棟札に、「文政五壬午天　三月十六日　左沢領東五百川送橋村　正別当　久蔵　名主　渡辺丹右工門　奉再建神明宮御守護御武運長久村内安全祈処　同郡宮宿村　導師　東守寺現住　永雄　四野沢村　大工　喜兵工　施主人　清野清七」と書かれ文政五年（一八二二）は宝暦四年より六十八年後である。すなわち文政五年に再々建されたことになる。

東守寺は豊嶋さんの家であり元は修験寺であった。

神明神社の創建については、何等よるべき文書はないが渡辺円蔵氏の記録によれば「その昔高森山の頂上に祭られていたが、後この地に祀りしものと伝えらる。高森山の下に「堂下」「神明田」等の地名から考えても事実らしい…」と。

鎮守の森は村人のいこいの杜で天明元年八月建立になる湯殿山塔を始め、文化二年建立の皇太神宮、廿三夜塔等村の聖地である。祭礼は四月十六日村を挙げて盛大に行われる。

（文／広報委員**長岡幸助**）

スポーツ選手育てる 雪国の環境

●元オリンピックマラソン選手 宇佐美彰郎氏が講演

元オリンピック選手宇佐美彰氏を迎えての講演会が、去る三月十八日中央公民館に大勢の聴講者を集めて開かれました。これは商工会青年部が主催して行ったもので、〝精神力で不況を乗り越えよう〟とテーマも「己れに克つ」。宇佐美氏は山形と環境が似ている新潟県出身。「裏日本は気候や交通など生活環境は悪いと言うが、このような雪深い地方からスポーツ選手がたくさん生まれている。そんな環境がねばり強さを育くむのでは」と語っていました。

朝日町との出会い

東京連絡事務所だより No.5

リンゴの花びら……春のおとずれと共に草木の芽が日増しに大きくなりましたが、朝日町の皆さんお元気ですか。

私の住いは東京から約一時間の所、江戸川をはさんで千葉県の市川です。子供の頃は周囲が田んぼばかりで、五、六月頃の日曜日にはザリガニ、ドジョウ、フナ、コイ、ナマズ等を夢中も言っています。また第三回東京朝日会におきましても、布施農協長を始め議員の方々も、「りんごの朝日町、朝日町のりんごは日本一」と申されていました。たしかに朝日町産のスターキングは日本一ですが、青森県からも朝日の品に負けない立派なスターが出てまいります。いま各グループ等で講習会や色々と研究がなされているようですが、どうか益々品質の改善と生産の向上を計って、実質的に全国一のリンゴとワインの町に発展されるよう心からお願い致します。

私は十数年前、故郷の田畑を売払って東京に出て参りました。当時は三六五日無休で夜おそくまで営業していましたが、昨今、五十の手習いを始めまして、火

心に残る故郷の山河と人情

柴田幸雄

《東京都葛飾区亀有５－54－５》

故郷を思う心は誰も同じと思いますが、幼い頃から見なれた山、川、田畑など、故郷を離れた人々にとってこれほど心に焼き付く事はないと思います。

私は故郷を出るまで、移動製材をして朝日町をくまなく回り、皆様にはたいへんお世話になってまいりました。それだけに、故郷の山川や人々の情が心の奥に刻まれて、毎日離れる事はありません。お世話になった皆様に、紙上をもちまして厚くお礼を申し上げます。

私は八百屋を営業していますが、毎日私の行く市場には朝日町のりんごが入荷しています。和合、化粧坂の方々の屋号と数量等を見まして楽しみにしています。朝日町のリンゴは非常に評判が良いと、市場の係の方

でつかまえることが出来た所です。自然にめぐまれた昔の田舎を大変なつかしく思います。現在は家々が建ち並びあそぶ所もありません。そんな生活の中で育った私には今でも自然が友達です。一年中、小さな庭ですが花は咲いております。こんな話を東京事務所でした事が、リンゴをいただくきっかけになりました。大井さんが「朝日町のリンゴはおいしいよ」と。

皆さんとの出会いも「自然の姿」を知らなかったらなかったと思います。その後、東京事務所開きの際には、町長さん、議長さん、町役場の皆さんともお会い出来ました。人生でこんな幸せな事はありません。私も「一期一会」を大切にしております。

私の父も今年で満八十四歳になりますが、今だ夕方には日本酒で一合をたのしんでいるようです。父も若い頃、自然の中で生活し、現中国へ出兵した身ですが体は丈夫です。酒をのむとよく昔話をしています。

そんな事で私も最近地酒のとりこになりました。朝日町ワインを東京事務所でいただきましたが、たいへんおいしいワインで味は格別でした。

朝日町の皆さん、そちらはまだ花びらには時早く寒いでしょう。機会がありましたら自分の目でワインの出来るのを見たいと思います。東京事務所の皆さんは少しでもお役に立てばと思って、大井さんを中心に活動しておりますのでご安心下さい。私も陰ながら朝日町のご発展に協力させていただきます。皆さんの大事な町費をお預りしておりますが厚くお礼を申しあげます。

リンゴの花の如く、朝日町の東京事務所があたたかく、立派に育ってほしいと思っております。「人間との出会い」大切にしたいものです。春を待ちつつ自然と共に明日に向かってがんばりましょう。どうか皆さんお体を大切にしてください。

（信金支店長／清水記）

春休みに子ども行事二つ

＊卓球で汗流す

去る3月28日，町民体育館で中部地区子ども会卓球大会が開かれました。これは子どもたちの健全育成のためにと毎年開いているもの。

今年は8チームが参加。育成委員を交えてのチーム編成で，笑い声が絶えずなごやかな中にも緊張した試合を展開していました。　成績は次のとおり。

1位／本町，　2位／西町，
3位／和合A，送橋

なごやかな中にも緊張感が

＊わら細工に挑む

春休みの行事として西部公民館が毎年開いているいもがわ少年教室が，今年は3月25と26日の両日高齢者センターで行われました。

内容は昨年に引続きわら細工。この日参加した24人の子どもたちは，センターのわら工品部の方々の指導で，生まれて初めての縄ないやぞうり作りに，慣れない手つきで挑んでいました。

初めての縄ないに挑戦

ふるさとへの便り ▶11◀

水曜は民謡・尺八、金曜は書道、土、日曜は津軽三味線と巾広く多くの人々と交って楽しくすごしています。真室川音頭、花笠音頭等は全国知らない人が無い様ですが、山形の素朴な唄い味山形ばくろう節、山形木挽唄等はまだまだ知られていない様です。これからは、良い山形の民謡を少しでも多くの人に唄っていただけるよう努力したいと思います。

（青果業／元町出身）

戸籍の窓

●57年3月1日～3月31日届出

＊出生

区名	出生者氏名	父名	続柄
常盤	長岡靖崇	信悦	長男
助ノ巻	鈴木希	俊昭	長女
真中	武田絵美	賢一	長女
本町	阿部育美	秀夫	三女
常盤	長岡孝晃	憲夫	長男
本町	山口偉純		長男

＊死亡

区名	死亡者氏名	年齢	世帯主
送橋	海野まつ	77	定四郎
常盤	阿部正美	71	啓
前田沢	熊谷茂	75	信弘
太郎二	相座きくよ	81	孝太
本町	安孫子武子	56	順一
大谷五	桜井捷蔵	68	勝
八ッ沼	清野きくよ	84	林三
西町	菊地よしの	69	利夫
太郎三	大井寛治	寿一	二男

＊婚姻

雪谷		天童市
鈴木博	♥	阿部とし子
中沢		舟渡
五十嵐平一郎	♥	五十嵐美恵子

町民黒牛草と礼

助け合い温かい町を

★後藤裕子さん（太郎三）

この三月、朝日分校を卒業し就職したばかりの社会人一年生、町のことはあまりわかりませんが、「**互いに助け合う**」ことが温かい町をつくる基本になると思います。

当面の目標はまず仕事に慣れること。それに自動車の運転免許を取ったばかり、一日も早く自信を持って運転できるようになりたいと思います。（高校時代は校内マラソンで、三年間二～四位という頑張り屋。かわしま商店勤務。趣味は手芸とバレーボール。18歳）

大江警察官派出所が完成

昨年十二月から派出所新築工事のため、仮事務所で事務をとっていましたが、三月十七日から新庁舎に移転し業務を開始しています。派出所前に広い駐車場ができ便利になっています。なお新庁舎は、平屋建一〇〇坪で総工費四、三〇〇万円です。

道夫さん一家

工藤恒美

火災に気をつけよう！

春の火災予防運動 4/9～4/22

三月二十二日、本町で火災があり一人焼死、一人が重傷という悲惨な事故がありました。今後こうした事が絶対起こらないよう、みんなで気をつけたいものです。とくにこれからは、空気が乾燥し、風も強く、火災が発生しやすい季節です。もう一度、家庭、事業所等の火気使用器具を点検すると共に、火災時の避難方法などについて充分話合いをしましょう。

■訂正について

三月号「路傍の神々」の中、次のとおり訂正します。

。正…鈴木昭氏

。誤…若月明氏

善意のかじ

町立図書館へ本寄贈

大江町の井筒屋書店

このほど大江町の井筒屋書店から町立図書館に本が贈られました。図書館ではこの善意に心から感謝しています。

主なものは次のとおりです。

●仲人秘訣集（松村勲）●悪魔の飽食（森村誠一）●婚礼の礼式と心得（三和由生子）●ゲートボール入門（遠藤太嘉志）●日本民謡大全集（三杉寿夫）●川釣り仕掛け集（市川弘夫）●ワインを楽しむ（岩野貞雄）●ウーマンズボディ　ほか

広報あさひ　305号　発行所／山形県朝日町役場　編集／企画課　昭和57年4月15日発行　印刷／豊田太印刷所